



# 西念寺だより 文月号



令和7年7月20日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地  
TEL 0774-62-1027, 63-2912 FAX 26-9683

## 御先祖を偲び、心を見つめるお盆

### —精霊を迎へて灯す 門火かな—

今年の梅雨明けは平年と比べて20日以上も早く、統計史上最も早い梅雨明けとなり、その後は夏の陽射しが日に日に強まり、酷暑とも言える夏の到来を感じる時季となりました。壇信徒の皆様方には日々お健やかに過ごしのことと拝察いたします。

間もなく今年もお盆がやって参ります。お盆は、私たちの命の源である御先祖さまを敬い、その御恩に感謝をささげる大切なときです。仏前に手を合わせるその静かなひととき、亡き方々への想いが自然と自分自身の今の生き方を見つめ直す機縁となってくれる気がいたします。

現代社会は、便利で効率的な生活が当たり前となる一方で、人と人との関わりが希薄になりがちな時代でもあります。ゆえにお盆を通して今は亡き大切な人のぬくもりや心に残る言葉、支え合う心の温かさに想いを馳せ、感謝の念を新たにしたいと思えます。

昨年のお盆に起きた能登半島地震は、今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされ、日々のニュースを見ているとふるさとを取り戻すにはほど遠い状況が続いています。

失われた日常、会えなくなった人々への想い、復興に向けた長い道のり・・・その中であらゆる希望を生んでいることをあらためて実感します。

お盆は、御先祖さまへの感謝とともに、そうした人との関わりや、自らの心を静かに振り返る貴重なときでもあります。亡き方々への想いを胸に、「今」を生きる私たちがどのように歩いていくのか、その指針を仏様や御先祖様の教えの中に見出していただければ幸いです。

また、「南無阿弥陀仏」と称えるお念仏の声には亡き方への想いと、今を生きる私たちの願いが込められています。この尊い行を通じて、皆さまお一人おひとりの心が癒やされ、また新たな一歩を踏み出す力となっただけならばと存じます。

当山では例年の如く、お墓参りや十日盆精霊迎え、棚経や施餓鬼法要などの諸行事を厳修させていただく予定です。

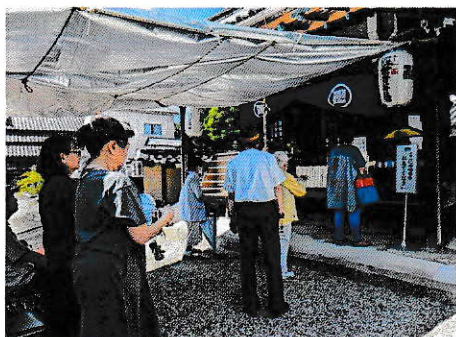
これらの行事を通じて御先祖さまを敬い、いのちのつながりを確かめる場としていただければと存じます。

壇信徒の皆さまの御理解と御協力を賜りながら、無事にお盆の諸行事を勤めさせていただければと存じます。

暑さ厳しき折、どうか御自愛のうえ心静かに仏縁を深めるお盆をお過ごしください。

合掌九拜

裏面に続く

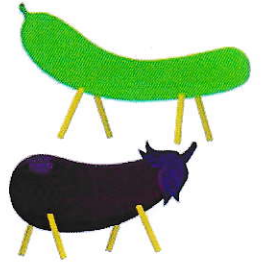


## 【本年度お盆行事について】

例年のごとく、8月に入りますと様々なお盆行事が続きます。皆様方の御協力を得て、無事に終わらせていただきたく、御理解と御協力をお願い申し上げます。

### ・境内お墓参り

- ・例年どおり、5日(火)、6日(水)、7日(木)まで行います。
- ・お墓参りをお済ませいただき、本堂内で御回向申し上げます。
- ・午前中は混み合いますので、重なった場合は他家と御一緒に勤めさせていただく場合がございます。  
御了承の程、お願いします。



### ・精霊迎え十日盆

- ・異常な暑さが続いておりますことから、水塔婆は本堂内で書かせていただきます。
- ・高野槇は誠に申し訳ありませんが、御入用の場合は500円の御寄進をお願い申し上げます。
- ・これまで卒塔婆の事前申し込みを実施して参りましたが、事前申込の割合が年々多くなり、当日の受付は益々減っている状況です。  
本来は対面で書かせていただくものであり、優秀な書道家にお越しいただいておりますので、是非当日直接書かせていただければと存じます。  
なお、多くの水塔婆御回向を御寄進いただく方には、お待ちいただく時間短縮の事前受付も行っております。
- ・当山は駐車場が大変狭いため、例年田辺区公民館の駐車場をお借りしています。そちらも合わせて御利用ください。

### ・棚 経

- ・11日～15日まで、各壇信徒様のお宅を廻らせていただきます。  
最近は交通事情だけでなく、異常な暑さに加えて突然の大雨など、様々な要因で予定時間が大幅に前後することも考えられます。  
何卒御寛容の程、よろしくお願い申し上げます。
- ・昨年お世話になりましたお上人のお一人が急遽今年はお越し頂くことが出来なくなってしまいました。  
その為、廻らせて頂く予定変更の組み替えに時間を要してしまい、お参りさせて頂く時間のお知らせが大変遅くなってしまいました。  
御迷惑をおかけして申し訳ありません。  
また、例年と異なる日にちや時間になってしまった地域もございますが、何卒御寛容の程お願い申し上げます。  
なお、増上寺の関慈愛上人は昨年と同じ地域を廻って頂く予定です。
- ・誠に申し上げにくいのですが、少しでも涼しいようにとの御配慮から夏用のい草の座布団を御用意頂くことが多いのですが、棚経のように多くの壇信徒様のお宅を廻らせて頂く場合は、だんだんと足への食い込みが酷くなり、特に回り縁が足の甲に食い込んで激痛になります。  
以前は我慢できたのですが、70歳も中盤にさしかかってくるとなかなか痛みが取れず、出来ましたら通常の座布団にしていたければと存じます。  
誠に勝手ですがよろしくお願い申し上げます。

### ・地藏盆、祠堂施餓鬼

- ・祠堂施餓鬼会 8月17日(日)午後1時より
- ・地 蔵 盆 8月24日(日)午前10時より

以上が主な概要です。御不明な点や御要望、御意見等がございましたら、お寺または役員様まで御連絡お願い申し上げます。

